

# BD アーカイバーLB-DM9 と PRIMERGY RX200 S8 との接続検証および、ファイルシステム仮想化ソフトウェア Mnemos NEXT による SPARC M10 からのファイルアクセス検証

2014年6月2日  
日本テクノ・ラボ株式会社

## 記

### 1. 検証概要

パナソニック製ブルーレイ(BD)データアーカイバー「LB-DM9」と日本テクノ・ラボ製コントローラソフト「Mnemos NEXT」がインストールされている富士通製 PRIMERGY RX200 S8 と SPARC M10-1 が NFS 接続され、LB-DM9 に構築されたボリュームに SPARC M10-1 から接続、動作検証しました。

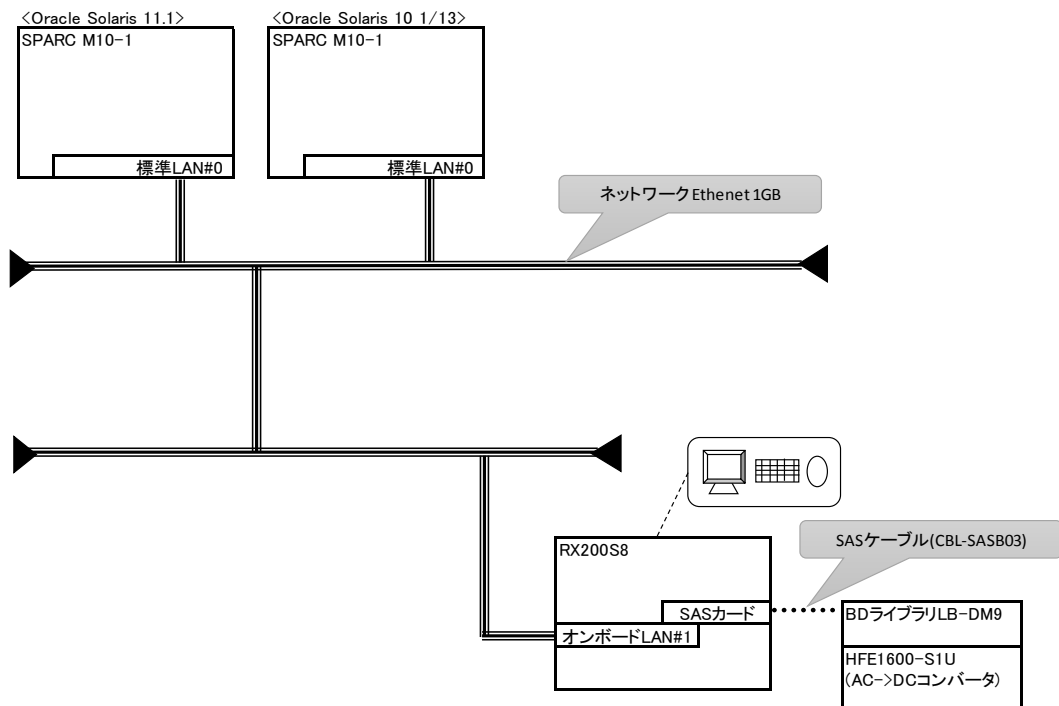
### 2. 検証期間及び場所

期間：2014年3月25日～2014年4月7日

場所：富士通検証センター(東京・浜松町)

### 3. 検証環境

#### 3. 1 接続構成図



### 3. 2 検証機器

#### サーバー本体：PRIMEGY RX200 S8

CPU：Xeon E5-2630v2 2.60GHz/6コア/15MB × 2

メモリ：16GB

HDD：600GB×2 (RAID1 構成)

OS：Red Hat Enterprise Linux 6.4 (for Intel64)

SAS カード：PY-SC2Z0

#### ブルーレイデータアーカイバー：LB-DM9

SAS ケーブル：CBL-SASB03

収納マガジン数：90

最大記憶容量：108TB

制御ソフトウェア：Mnemos NEXT

AC-DC コンバータ：HFE1600-S1U

#### クライアント本体：SPARC M10-1

CPU：SPARC64 X(16core/22MB) 2.8GHz

メモリ：64GB

HDD：600GB(10Krpm)×2

OS：Oracle Solaris 11.1

#### クライアント本体：SPARC M10-1

CPU：SPARC64 X(16core/22MB) 2.8GHz

メモリ：64GB

HDD：600GB(10Krpm)×2

OS：Oracle Solaris 10 1/13

### 4. 検証項目

#### 確認項目内容

- Red Hat Enterprise Linux 6.4 (for Intel64)サーバーとデータアーカイバーLB-DM9 の接続
- Mnemos NEXT の Red Hat Enterprise Linux 6.4(for Intel64)サーバーへのインストール
- Mnemos NEXT でボリュームを作成
- Mnemos NEXT ボリュームへのアクセス確認
  
- SPARC M10-1 Oracle Solaris 11.1 から Mnemos NEXT ボリュームへのアクセス。  
NFS 接続。  
ボリュームへのデータの書き込み、削除、更新ができることを確認。
  
- SPARC M10-1 Oracle Solaris 10 1/13 から Mnemos NEXT ボリュームへのアクセス。  
NFS 接続。  
ボリュームへのデータの書き込み、削除、更新ができることを確認。

## 5. 検証結果

Red Hat Enterprise Linux 6.4 (for Intel64)サーバー「PRIMEGY RX200 S8」に Mnemos NEXT をインストールすることとデータアーカイバー「LB-DM9」の接続を確認。

SPARC M10-1 Oracle Solaris11 及び SPARC M10-1 Oracle Solaris10 1/13 で LB-DM9 上に作られたボリュームに正しくアクセスできることを確認。

## 6. お問い合わせ先

社名 : 日本テクノ・ラボ株式会社

住所 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-2-10 平河第一生命ビル 5階

TEL : 03-5276-2810

FAX : 03-5276-2820

E-Mail : sales@ntl.co.jp

URL : <http://www.ntl.co.jp>